

# 学習意欲が低いのは、努力不足ではありません

無料

～読み書き困難と、学力を伸ばすための適切なサポートを知る～

日 時：令和8年3月7日（土）10:00～11:30

方 法：ライブ配信によるオンライン開催（先着300名）

※ご覧になれなかった方にアーカイブ配信 令和8年3月8日～31日もあります

対象者：市内小中学生の保護者・教職員ならどなたでも

「勉強を嫌がる」「集中が続かない」「宿題に時間がかかり泣いてしまうこともある」そんな子どもの姿に、悩んでいませんか。その背景に、読み書きに過剰な疲労を感じる特性（読み書き困難）が隠れていることがあります。近年、高校・大学入試では読み上げやPC使用などのサポートが広がり、愛知県立高校入試でも合理的配慮が実施されています。一方で、読み書き困難そのものへの理解不足から、必要な子どもに支援が届いていない現状もあります。本講演では、事例紹介をふんだんにまじえ、子どもの学習意欲と学力を引き出すために、家庭や学校でできる具体的な支援のあり方をわかりやすくお伝えします。子どもが「できない」と思い込む前に、いま知っておきたい、学びの環境づくりと一緒に考えてみませんか。

## 【参加方法】

以下の市PTA連のHP上に掲載する研修会のログイン用URLから参加が可能です。

URL <https://pta-toyohashi.org/news/post-956.html>

QRコード



講師：菊田 史子（きくた ふみこ）【プロフィール】

一般社団法人読み書き配慮代表理事。学習障害がある息子が慶應義塾高校へ進学したのを機に学習障害（LD）の社会的解決を目指して同法人を立ち上げる。「LDを知る（理解）・調べる（検査）・支援する」を柱に、データベース事業、セミナー・相談事業などを展開。「読み書き苦手な子供のスクールKIKUTA」は著書『読み書き困難のある子供たちへの支援～子供とICTを繋ぐKIKUTAメソッド』（金子書房,2023）でノウハウを公開している。



日本小児診療多職種学会、鹿児島市PTA連合会保護者研修会、鹿児島県議会文教委員会研修会、秋田県教育庁教員研修会、その他、様々な市町村や大学などで保護者や教員に向け多数の講演を行っている。主な著書に『これでピタっと！ 気づけば伸ばせる学習障害～事例から学ぶ“解決”教えたいのは挫折ではなく生きる力～』（ブックトリップ）がある。